

## 2015 年度 秋季研究発表講演会および付帯行事の報告

会期 2015年10月9日(金)～10日(土)

会場 北海道大学工学部(札幌市北区北13条西8丁目)他

山々の草木も紅葉し始め、秋色いよいよ濃くなりつつある中、北海道大学大学院情報科学研究科 教授 金井 理 先生に実行委員長をお引き受け頂き、同大学キャンパスを主会場として、2015年度秋季研究発表講演会が開催されました。

初日の10月9日は、夕刻より札幌市内のキリンビール園本館中島公園店にて、前回の講演会の受賞者への表彰式を含めた技術交流会が執り行なわれ、50余名の参加者を得て盛会となりました。なお、準備万端で迎えた午後の企業見学会(Jファーム殿、ダイナックス殿)は、前日までの大型台風23号の接近による強風の影響を考慮して中止となりました。

第2日目の10月10日は、将に台風一過ともいえる好天に恵まれ、フロンティア応用科学研究棟および高等教育推進機構S棟に設けられた5室にて、パラレルセッション形式で76件の最新の研究発表がありました。昼過ぎには、鈴木章ホールにて、北海道大学大学院情報科学研究科 教授 小野里 雅彦 先生に「設計工学からみる三つの研究対象について—係留気球・がれき工学・四次元形状—」と題して約1時間、壮大なスケールの研究内容の講演を頂きました。

フロンティア応用科学研究棟の受付ホール内には企業技術展示を設け、設計工学に関連した民間企業ならびに研究機関からのデモやパネル・カタログ等による技術紹介がなされ、交流の場となりました。

全国より119名の参加を頂き、成功裡に終了致しました。会長 笹島和幸先生、大会検討委員会委員長 平野利幸先生、事務局長 小野島 貫 様ならびに道内外36名の秋季研究発表講演会実行委員会委員、とりわけ、金井理先生、伊達宏昭先生、平元理峰先生の多大な尽力を頂きました。写真は荒木勉先生より提供頂きました。記して各位に謝意を表します。

風間 俊治(実行委員, 支部幹事, 支部長)



小野里先生の特別講演



講演会場のひとコマ